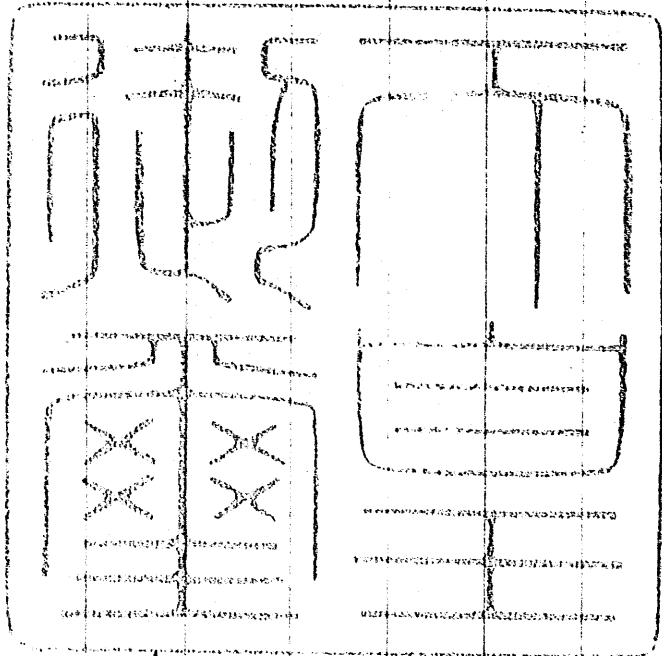


條約第三号

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ伊太利國羅馬ニ於テ帝  
國外三十九箇國全權委員ノ記名調印シタル萬  
國農事協會ニ關スル條約ヲ批准シ茲ニ之ヲ公布  
セシム

睦仁



明治四十三年七月十三日

内閣總理大臣侯爵桂

太郎

外務大臣伯爵

小村壽七郎

農商務大臣

小松原英太郎

條約第三號

條約書

萬國農事協會創設萬國會議ニ出席シタル諸國ノ委員ハ千九百五年五月二十九日ヨリ六月六日ニ彌リ羅馬ニ於テ數回ノ會議ヲ開キ千九百五年六月七日ノ確定日附ヲ記入シタル條約文ヲ議定シ該條約文ハ右萬國會議ニ賛同シタル諸國政府ノ承認ヲ經タルニ依リ良好妥當ト認メラレタル全權委任狀ヲ有スル下名

等ハ各各其ノ政府ノ名ニ於テ左ノ條項ヲ約定セリ

第一條 萬國常設農事協會ヲ羅馬ニ創設ス

第二條 萬國農事協會ハ國家的一施設體タルヘク加盟國ハ各各其ノ選定ニ係ル委員ニ依リ代表セララルヘシ該協會ハ總會及常設委員會ヲ以テ組成ス而シテ其ノ組織及職權ハ左ノ諸條ニ於テ之ヲ定ム

第三條 總會ハ加盟國ノ代表者ヲ以テ之ヲ組成ス各加盟國ハ其ノ委員數ノ多寡ニ拘ラス總會ニ於テ本條約第十條ニ掲載スル所ノ各國ノ屬スヘキ等級ニ依テ定メラレタル投票數ヲ有スヘシ

第四條 總會ハ會議ヲ開ク毎ニ會員中ヨリ議長一名副議長二名ヲ互選スヘシ  
會議ハ最終ノ總會ニ於テ定メタル期

日ニ於テ常設委員會ヨリ提出シ加盟  
國政府ノ採用シタル日程ニ依リテ開  
會スヘキモノトス

第五條 總會ハ萬國農事協會ヲ支配ス

ルモノトス

總會ハ協會ノ組織及内部ノ事務ニ関  
シ常設委員會ノ起草シタル案ヲ承認  
シ經費ノ總額ヲ定メ會計ヲ監督承認  
ス

協會經費ノ增額若ハ其ノ權限ノ擴張

ヲ要スヘキ一切ノ修正ハ諸加盟國政  
府ノ承認ヲ受クル爲總會ヨリ之ヲ提  
出スヘシ總會ハ會議ノ期日ヲ定メ其  
ノ規則ヲ制定ス

加盟國投票總數三分ノ二ヲ代表スル  
委員總會ニ出席スルニ非サレハ其ノ  
議事有效ナラサルモノトス

第六條 協會ノ事務執行權ハ之ヲ常設  
委員會ニ一任シ常設委員會ハ總會ノ  
指揮監督ノ下ニ其ノ決議ヲ執行シ總

會ニ付スヘキ議案ヲ準備ス

第七條 常設委員會ハ諸加盟國政府ノ  
指命シタル委員ヲ以テ組成ス各加盟  
國ハ常設委員會ニ一名ノ代表者ヲ置  
クヘシ但シ常設委員ノ實數十五名ヨ  
リ少ナカラサルニ於テハ一加盟國ノ  
代表ハ他ノ加盟國ノ代表者ニ委任ス  
ルコトヲ得ルモノトス

常設委員會ニ於ケル投票ノ條件ハ第  
三條ニ於テ總會ノ爲ニ示定シタルモ

ノト同一ナルヘシ

第八條 常設委員會ハ該委員中ヨリ議  
長一名副議長二名ヲ互選シ其ノ任期  
ハ三箇年トス但シ再選ヲ妨ケス常設  
委員會ハ内部ノ規則ヲ定メ總會カ常  
設委員會ノ處分ニ委シタル經費金額  
ノ制限内ニ於テ協會ノ豫算ヲ議定シ  
同會事務局役員及傭員ヲ任免ス  
常設委員會書記長ハ總會書記ノ職務  
ヲ行フモノトス

第九條 協會ハ其ノ行動ヲ國際的範圍

内ニ制限シテ左ノ事務ヲ行フヘシ

(イ) 耕作、動植物ノ生産、農産物ノ貿易

及各地ノ市場ニ於ケル時價ニ関

シ統計上、技術上及經濟上ノ諸報

告ヲ成ルヘク速ニ蒐集、考究及刊

行スルコト

(ロ) 前項ニ掲ケタル諸報告ヲ成ルヘ

ク速ニ關係者ニ通告スルコト

(ハ) 農業者ノ貸銀ヲ指示スルコト

(ニ) 世界中何レノ地タルヲ問ハス新

ニ植物病發生シタルトキハ發病

地域、病毒傳播ノ進行及若シ出來

得ハクムハ病毒ヲ撲滅スルニ有

效ナル方法ヲモ併セテ之ヲ通知

スルコト

(ホ) 各種ノ農業組合、農業保險、農業銀

行ニ関スル問題ヲ考究シ右組合

保險、銀行等ノ組織ニ関シ諸國ノ

爲ニ有益ナルヘキ事項ヲ蒐集刊

行スルコト

(一)  
若シ必要アルトキハ農事萬國會  
議其ノ他ノ農事會議農業ニ関ス  
ル應用學術會議農事協會學士院  
學士團體等ノ表彰シタル希望等  
ノ如キ必要ナル一切ノ報告材料  
ヲ豫メ蒐集シタル上農業家共通  
利益ノ保護及其ノ状態改良ニ関  
スル方法ヲ諸加盟國政府ニ提議  
スルコト

特別ナル事情アル一國ノ經濟上ノ利  
益法令及行政ニ関スル一切ノ問題ハ  
協會ノ權限ニ屬セサルモノトス

第十條 萬國農事協會ニ加盟シタル諸  
國ハ各其ノ適當ト認ムル所ニ隨ヒ左  
記五箇ノ等級内ニ列スルモノトス  
各加盟國ノ有スヘキ投票ノ數及經費  
分擔單位ノ數ハ左ノ累進率ヲ以テ之  
ヲ定ム

國ノ等級

投票數

經費單位數

一	等	五	一	一
二	等	四	二	二
三	等	三	三	四
四	等	二	四	八
五	等	一	五	一六

如何ナル場合ニ於テモ經費各單位ノ  
分擔額ハ二千五百法ヲ超過スヘカラ  
サルモノトス

最初二箇年間ハ經費各單位ニ對スル  
負擔額ハ千五百法ヲ超過スヘカラサ

ルモノトス

諸殖民地ハ其ノ所屬本國ノ請求ニ依  
リ獨立國ト同一ナル條件ヲ以テ萬國  
農事協會ニ加盟スルヲ得ヘシ

第十一條 本條約ハ之ヲ批准シ其ノ批  
准書ノ交換ハ成ルヘク速ニ該批准書  
ヲ伊太利國政府ニ寄託シテ之ヲ行フ  
ヘシ

右證據トシテ諸國ノ全權委員ハ本條約  
ニ記名調印ス



千九百五年六月七日羅馬ニ於テ本條約  
書一通ヲ作り之ヲ伊太利國外務省ニ寄  
託シ其ノ認證謄本ハ外交上ノ手續ニ依  
リ諸加盟國ニ交付ス

伊太利國 チツトリーニ印

モンテネグロ國 ジエホラル、ミタルマルチウ井ツチ印

露西亞國 クルーペンスキイ印

亞爾然丁共和國 バルドメロ、エム、フォンセア印

羅馬尼亞國 ニコラス、フレヴァ印

塞爾比亞國 エム、ミロヴァノヴ井ツチ印

白耳義國	エル、ウエルハゲド、ネーイエル印
サルヴァドル國	ジト、グスタヴォ、ガエレロ印
葡萄牙國	エム、デカルヴァリヨ、エヴァスコセロス印
墨西哥合衆國	ジエリア、エステヴァ印
盧森堡國	エル、ウエルハゲド、ネーイエル印
瑞西聯邦	ジト、バーピオタ印
波斯國	エヌ、マルコルム印
日本國	大山、綱介印
エクアトール國	ジト、テリ、メラ印
勃爾牙利國	テリ、ミンチヨウ井ツチ印

丁	抹	國	伯爵モルトケ印	
西	班	牙國	チエツクテアルコス印	
佛	蘭	西國	カミルバレール印	
瑞	典	國	ビルト印	
和	蘭	國	ヨシクヘール、フアンデルゲース印	
希	臘	國	クリステアン、ミツツオポウロス印	
ウ	ル	グエー	國	ジヤンクエスタス印
獨	逸	國	ア、モンツ印	
玖	瑪	國	カルロス、デ、ペドロソ印	
奧	地	利	國	特命全權大使、リ、ソ、印
匈	牙	利	國	特命全權大使、リ、ソ、印

諾	威	國	カルル、レーウエンスキヨルド印							
埃	及	國	アジツ、イセツト印							
大	不	列	國	エドウ、井、エツチ、エカートン印						
グ	ア	テ	マ	ラ	國	トマス、セガリーニ印				
エ	チ	オ	ピ	ー	國	ジウゼツペクボニーニ印				
尼	加	羅	瓦	國	ジヤン、ジオルダノ、チエツクテオラチ印					
亞	米	利	加	合	衆	國	ヘンリー、ホワイト印			
伯	刺	西	爾	國	バロス、モレイラ印					
コ	ス	タ	リ	カ	國	ラファエル、モンテーレグレ印				
智	利	國	ヴ	井	ク	トル	グ	レ	ツ	印

秘	露	國	アンドレースアカセレス印
清	國	黃誥印	
パラグエー	國	エフエスベスツチ印	
土	可其國	エムレシツド印	

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル  
 日本國皇帝御名此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス  
 朕明治三十八年六月七日伊太利國羅馬  
 府ニ於テ萬國農事協會創設萬國會議ニ  
 參列シタル帝國ノ委員ト各國ノ委員ト  
 ノ間ニ協議決定シ同年十二月十九日帝  
 國全權委員ノ記名調印シタル條約ノ各  
 條目ヲ親シク閱覽點檢シタルニ善ク朕  
 カ意ニ適シ間然スル所ナキヲ以テ右條

約ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百六十七年明治四十年三月六日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名 國璽

外務大臣子爵林董印